



日本共産党議員団 2015年度 予算要望書を提出

重点要望 (25項目のうち、紙面の関係で主なものを要約して紹介します。ホームページに全文掲載。)

- 地震、大雨などの被害を最小限におさえるため、防災事業をしっかりとすすめること。公共施設避難所の耐震化を早期に完了すること。
- 安全安心の再生可能な自然エネルギー推進のための計画 を積極的に推進すること。
- 消費税10%への増税に反対し当面5%に戻すよう国に求めること。
- 国民健康保険料を引き下げること。
- 介護保険料を引き下げること。保険料・利用料の市独自減免制度を創設すること。
- あかつき・ひばり園の療育水準・センター的役割維持・向上に市が責任を持ち、来年度の市職員の引き継ぎ計画を見直すこと。
- 廃プラ処理施設による健康被害を解消すること。住民の健康調査を実施すること。ペットボトルを除く廃プラは焼却すること。
- 認可保育所の新設をすすめ、保育所待機児童を解消すること。
- こども医療費助成制度を中学校卒業まで拡充すること。
- 小中学校で35人以下学級を計画的に実施すること。
- 学童保育事業については、6年生までの入会、開所時間の延長、指導員の待遇改善などを進めること。
- 上・下水道料金の引き下げを進めること。
- 中小商工業、農業振興のため事業を拡充すること。市独自の中小企業融資制度を創設すること。
- 新たな大型開発は行わないこと。第二京阪沿道の市街化方針を見直し、東部地域の市街化調整区域を保全して、緑や自然の再生をはかること。
- 「ふるさとリーサム地区まちづくり整備計画」については、新たな特別対策にならないよう地域合意、市民合意をはかること。
- コミュニティバス路線の拡充を進めること。
- 市民が気軽に利用できるスポーツ施設の整備をすすめること。
- 市職員の退職補充をきちんとおこない市職員の削減、非正規化はやめること。
- 基金の積み立ては必要な範囲にとどめ、市財政は市民の暮らし向上のため有効に活用すること。

11月20日、日本共産党議員団は、2015年度予算要望書を馬場市長に提出しました。
要望項目は、25の重点項目と184の分野別項目です。



発行

日本共産党

寝屋川市会議員団

824-1181(内線2399)

FAX 824-7760

Email:jcpc@cc-net.or.jp

No. 2602

太田 とおる
高柳2-49-2

☎826-1664

田中 ひさ子
国松町10-36

☎823-1714

中林 かずえ
宝町4-33

☎839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5

☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6

☎821-7427

12月議会の日程

日	曜	時間	会議
11/27	木	10時	議会運営委員会
12/3	水	10時	本会議
4	木	10時	厚生・文教常任委員会
5	金	10時	総務・建水常任委員会
9	火	10時	議会運営委員会
10	水	10時	本会議 (一般質問)
11	木	10時	本会議 (一般質問)
12	金	10時	本会議 (一般質問)
16	火	10時	議会運営委員会・本会議

12月議会が始まります

あかつき・ひばり園 来年度の引き継ぎは慎重に

保護者が市に要望書を提出 市職員の引き継ぎ見直しを

あかつき・ひばり園の保護者から、寝屋川市へ要望書が提出されています。

要望書には、4月からの指定管理者制度の導入によって、保護者・関係者の不安はつる一方で、療育の後退につながるのではないかと、不安を感じていると書かれています。以下、内容を紹介します。

◆ ◆
保育士の引き継ぎ期間を専門職と同様に5年間かけておこなってほしいです。

あかつき・ひばり園の保育士は多様な知識と経験を重ねた専門職が、わずか2年の引き

継ぎ期間では、療育内容が不完全なだけでなく、相談の際に的確な情報・アドバイスがもたれないことがありません。

現在の療育水準を維持、向上させていくためには、長年たずさわっ

担当ラインを増員してほしい

現在、担当ライン(引き継ぎと療育水準の維持向上に責任をもつ、障害福祉課に設置された係)は、引き継ぎ全般を担当するというより、主にクラスの保育の補助となつて

います。

本来の役割を果たすためにも、担当ラインの職員を増員し、あかつき・ひばり園に常駐させてください。

てきた市職員の経験を生かして日々の指導や定期的な確認、話し合いを続ける必要があると考えます。

あかつき・ひばり園の今後を見据えると、引き継ぎ期間は過渡期としての数年のことが

もしませんが、こどもと保護者にとっては今がすべてです。

この引き継ぎ期間の数年が今後のあかつき・ひばり園につながるためにも、今こそ、手厚い引き継ぎをお願いします。



府営住宅募集案内

申し込み期間
12月1日～15日
党議員団の各事務所に問い合わせください。



中林 かずえ

22日豊里町公民館で「市政報告と木屋校区地域懇談会」を開催しました。

広報ねやがわによる全国学力テストの結果の公表について、ご意見をお聞きしました。

全国平均より低い校区の保護者や子どもたちが、肩身の狭い思いをするのではないかと、2回も続いて低ければ地域的に

固定されるのではないかと、点数の競い合いでひとりひとりの子どもが見えなくなるのではないかなどの疑問点が出されました。

今回の公表については、府内で突出しており、まずは、現場の教職員や教育関係者からの意見を聞かなければならないと感じました。